

(公財)大垣市文化事業団

大垣市・文化事業の企画、運営及び施設管理

平成24年度
認定

大垣市が掲げる「子育て日本一」の政策目標に積極的に取り組み、法を上回る諸制度を導入。さらにそれらの制度を活用しやすい環境づくりを目指し、看護休暇等の利用者は年々増加傾向にある。

従業員数／男性28名 女性28名 計56名 ※平成29年4月1日現在



子ども参観日には、3～11歳の子どもや孫9人が参加し、名刺交換などを体験。

実態に合った制度に改善

大垣市文化事業団は、職員に30代以上の女性が多く、仕事と子育てを両立しながら、能力を十分に発揮できる環境づくりに注力。短時間勤務制度や時間単位で付与できる子どもの看護休暇など、制

度の充実化を早くから進めてきた。さらに諸制度が整備された後も、午前8時30分からの6時間労働としていた短時間労働を、勤務時間内で自由に始業・集合時間を選択できるように変更。また育児休暇は、子どもが2歳の誕生日を迎えた時に終了となっていたが、3歳に達する日まで延長するなど、実態に合った取得しやすい制度となるよう、常に柔軟な改善を行っている。

さらに、大垣市が掲げる子育て日本一を支援するための休暇として、小中学校の行事参加や妊娠活動をバックアップする制度を新設し、より育てやすく、より働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

2017年8月には、職員の子



舞台の裏側で行われる、音響・照明の操作方法なども親子で体験。

どもや孫を職場に招き、3回目の子ども参観日を実施。子どもたちは館内見学や仕事体験を行った後、全員で食事をし親睦を深めた。その後子どもたちには自宅で感想文を書いてもらい、家庭で仕事について会話が生まれる機会を創出した。